

旭労災病院ニュース

病院情報誌

第 154 号

平成 31 年 02 月 1 日発行

発行所: 旭労災病院

〒488-8585

尾張市中平字町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.johas.go.jp/>

手術で改善する歩行障害: 正常圧水頭症

脳神経外科部長

丹羽 裕史



高齢化社会が進む中、歩行障害のために、繰り返し転倒してお困りの方をお見受けします。年齢のためと思い込み、諦めて、歩行器や、車いすを導入して生活しておられる方もあればなんとか改善したいと、デイサービスなどでリハビリに励む方もおられるようです。

歩行障害にも、いろいろな原因があると思います。下肢の筋力の低下、平衡機能障害、円背、膝や股関節の変形による痛み、心肺機能の低下など、歩行障害の原因としてあげられると思います。

特発性正常圧水頭症は、特に先行する疾患がなく、緩やかに進行(悪化)する歩行障害です。教科書的には3徴として①歩行障害、②認知症、③排尿障害(失禁)が挙げられています。

中でも、歩行障害が先行して発症することが多いといわれています。

正常圧水頭症の歩行障害は特徴的です。足の挙上障害(すり足)、歩幅が狭い(一歩で進む距離が短い、足が前に出ない)、歩隔が広い(足を左右に開く、肩幅に開く)、方向転換に時間と歩数を要するといった特徴があります。

このような歩行障害をみますと、正常圧水頭症を疑って頭部画像検査を行います。

画像では、脳室系の拡大、Sylvius 裂の開大、高位円蓋部の脳溝の狭小化といった特徴が見られます。

正常圧水頭症の治療は、脳室一腹腔シャント術、あるいは腰椎一腹腔シャント術です。

手術の有効性を占う検査として、tap test があります。髄液排出試験です。腰椎穿刺を行い、30ml の髄液を排出します。自然滴下を待ちますと 30 分ほどを要します。

Tap test の前後で歩行障害を評価します。評価には timed up and go test を行います。

壁に向かい、3m 離れたところに椅子を置きます。被験者はこの椅子に座っているところから開始します。スタートの合図で起立して壁に向かってマイペースで歩きます。壁に手で触れて、向きを変えて(180 度回転)椅子まで歩き、また、向きをかえて着席します。座位からスタートして、往復後、再度、着席するまでの時間と、歩数を記録します。

正常圧水頭症では、tap test 翌日には、timed up and go test の時間も歩数も減少します。

さらには数日以内で元の歩行障害に戻ってしまいます。この、改善がよい人にはシャント手術が有効である可能性が高いといわれています。

特発性正常圧水頭症(iNPH)診療ガイドラインでは tap test で改善が見られたものに対し、probable iNPH としており、シャント手術で改善が見られたものを definite iNPH としています。

すり足で、歩幅が小さく、不安定な歩行でしたら、手術で改善できる歩行障害かもしれません。一度、当科にご紹介をいただけましたら幸いです。

最新MRI装置の導入

中央放射線部長 信藤 邦男

2019年5月の新病院開院時に、MRI 装置、CT 装置、一般撮影装置、血管撮影装置等の画像診断機器の多くが更新されます。その中でも、最新 MRI 装置「SIGNA Artist-T 1.5T」GE ヘルスケア・ジャパン社製について幾つかの機能を紹介したいと思います。

【概観】

患者様が入る空間が広くなりました。従来は直径 60 cmでしたが 70 cmと広くなり、開放感が高まります。

【着脱型撮像テーブル】

MRI は強力な磁石を用いており金属などは持ち込めません。そこで、安全性を考慮し着脱型撮像テーブルを採用しました。検査室外でのセッティングや、万が一検査中に何か起きたときにスムーズに対応でき安全に検査を行うことができます。

【Hyper SENSE】

圧縮センシングという技術を応用して、少ないサンプリングデータから画像を再構成する機能で「撮像時間の短縮」「高分解能撮像」が可能となるアプリケーションです。

【SILENT SCAN】

世界で初めて「音のしない MRI 検査」を可能とした画期的な技術です。発生する騒音をいかに小さく抑えるかという従来の「静音化」技術とは異なり、検査環境音に対して、わずか 3dB 以下の音量で撮像する技術です。患者さんに安心して検査を受けていただけたらと思います。注)すべての検査撮像シーケンスではありませんので、ご注意ください。

【PROPELLER MB】

全身領域の各種コントラスト・任意断面撮像において、体動によるアーチファクトの抑制が可能となる撮像技術です。

【IDEAL&FLEX】

局所磁場不均一が引き起こすアーチファクトは MRI にとって大きな課題と言えます。その中でも脂肪抑制画像の不良は正確な診断の妨げとなる場合があります。ピクセルごとの局所磁場不均一を計算し再構成する 2つのアプリケーションを装備し、従来、脂肪抑制が困難な領域・部位においても均一な脂肪抑制撮像が可能です。

このように、患者様にも優しく高画質が期待できる装置ですので、どうぞ今後とも、ご利用下さい。尚、核医学診断装置につきましては移設となりますので、数週間の予約制限をさせていただきます。何卒ご理解いただきますようお願い致します。



お知らせ

身障者用駐車場の変更について

新病院棟工事に伴い、従来の身障者用駐車場が利用できなくなります。
つきましては、下記のとおり変更しますので、お知らせいたします。

記

- ☆ 変更期間 2019年3月1日（金）～2020年5月31日（日）
- ☆ 変更場所 第4駐車場（別紙ご参照ください）

工事期間中は患者さんをはじめ病院利用者の方々には、大変ご不便をおかけしますが
何卒ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。

